

開催概要

| | |
|-------|--|
| 名 称 | 第 23 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会 |
| 日 時 | 令和 5 年 5 月 17 日（水） 午後 2 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分 |
| 場 所 | 新潟市役所 ふるまち庁舎 4 階 402 会議室 |
| 委 員 | 中村 美香（特定非営利活動法人まちづくり学校 事業推進部 コーディネーター）※会長 西垣 勝（新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長） 高松 智子（ユニバーサルカラープランナー協会 会長） 高橋 邦夫（特定非営利活動法人地域インフラ研究会 理事長） 小沢 謙一（新潟商工会議所 理事・事業部長） 田中 雅史（新潟市中央区自治協議会 委員） 内田 剛二（国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長） 佐久間 なおみ（新潟市中央区 区長） |
| 事 務 局 | 新潟市（まちづくり推進課） 国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 |
| 施設使用者 | 株式会社 スノーピーク |

議事要旨**■議題 1 現時点の実施状況について 【資料 1-1 ～ 資料 1-2】****■議題 2 ミズベリング信濃川やすらぎ堤左岸利活用 【資料 2】**

- ・ 資料 1-1、資料 1-2、資料 2 について、事務局（新潟市）及びスノーピークから説明
- ・ 飲食出店は 6 月 17 日（土）から 9 月 24 日（日）
- ・ その他のイベントに関しては日程確定次第、協議会へ報告する
- 委員からの主な質問・意見
 - ・ 水辺体験キャンプの参加者はこういった属性か
 - 市外、県外、市中央区在住者など様々、SNS や店舗での案内で利用を申込みケースが多い
 - ・ 出店者が昨年同様ということで定着してきたということか
 - 例年募集しているが、今回は新規の出店がなかった（昨年は新規出店あり）
出店における費用面でのハードルを考慮し、小規模な出店も可能
 - ・ 飲食出店以外のイベントに関して全体のスケジュールを示した方がよい
 - ・ 左岸の活用については、右岸との違い等にも触れて広報等をしていくとよい
 - ・ 「賑わい」の考え方は様々あるが、左岸はいろいろな活動で市民が憩える空間となることを期待している

■議題 3 アンケート調査について 【資料 3-1 ～ 資料 3-3】

- ・ 資料 3-1～資料 3-3 について事務局（新潟市）から説明
- ・ 事業の総括を行う上で主な観点を【賑わい創出】【魅力と価値の向上】【取組の持続可能性】と設定し、アンケート調査等によりそれぞれの観念の把握に必要なデータ収集を行う。
- 委員からの主な質問・意見
 - ・ 全体満足度は回答者によって視点が異なるのでは（マネジメントに対して、飲食の種類に対して、取組全般についてなど）。例えば項目を細分化するなどして、それらを把握できるように

したほうがよいのでは。自由記載欄で満足度の理由や改善点、課題などを聞き取るようにしてはどうか

- ・全体を通してミズベリングを知っている前提での調査であるとの印象を受けた。アンケート内でミズベリングについての説明があるとよいのでは
- ・設問の量が多いため、項目の整理が必要
- ・収集方法について電子コードの活用など回答しやすくなる工夫できるとよい
- ・自治協議会など、地域住民にアンケートの実施などを検討してほしい

■議題4 今後のスケジュール 【資料4】

- ・資料4について、事務局(新潟市)から説明

会議資料

資料1-1 利用調整協議会 意見対応状況見

資料1-2 事業実施状況 (SP)

資料2 左岸の活用について (概要)

資料3-1 アンケート調査項目の検討

資料3-2 利用者アンケート

資料3-3 連携事業者アンケート

資料4 今後のスケジュール